

自然の神秘を見て!

Generations have sought to solve the mysteries of the earth.

Can we finish their works before we reach for the stars?

書物からひろ、た、わたしの好きなことばである。山に囲まれた静かな湖——その夕映えの空、ばいに飛びかう小鳥の数々。——その写真の右下にそえられた、わたしが二行にすぎないこの文章、……人類は古い昔から、この地球の神秘なことを、何とか解明しようとしてきた。けれど、星の世界へ行けるようになる前に、自然の神秘さを解明しえるだろうか……そんな意味になるのだろうか。

たしかに、わたしたちの身のまわりには、自然の神秘さが満ち満ちている。数えきれない花の多様さと色彩美、笠形の妙、小鳥にしても、チョウにしても、その自然のまへの生命あるものの美しさはわたしたちの生活に、とれだけ好



稲羽中教諭(学芸員) 小野木 三郎
影響を与えてくれたが、想像以上のものである。

ところが、科学技術が進歩、機械文明の生活へと発展した今日の人間生活は、ますます自然を忘れようとしている。先日名古屋の先生から、「ニワトリのふんを見ても、それがニワトリのものであるとは知らず、教科書のさし紙では知、ていても、実物のエンドウを見せられても、エンドウだとわからない子ども——が多い」という笑うに笑えない話を聞かされた。身のまわりの自然物は、全てが子どもにと、ては遊び相手、人間をすこやかに育ててくれる偉大な教師でもあ、たはすだ。

したが、て、これからは、自然資料を展示した博物館が、一般大衆からも、望まれることは確かである。

さいわい岐阜公園内には、名和昆虫博物館があり、現在、開館50周年と日本万国博を記念して、世界の

昆虫展が催されてあり、去る4月2日の天皇誕生日に早速訪れ、そこに展示されている数々のチョウの更物にふれ、い、そう自然界の妙美に心うたれてきました。

祭日とあて、学生や家族連れの入場者が目立ち、かなりの盛況でした。正面玄関を入ると、特別陳列ケースには、「東南アジア・インド・ネパールの昆虫と民芸品」(名和正男館長収集)が展示され、特別展の雰囲気を感じていました。一階は、金華山の昆虫、チョウの襲表、ギフチョウの一生、分類による展示など、昆虫全般にわたる一般的な展示内容で、特別展は二階でした。

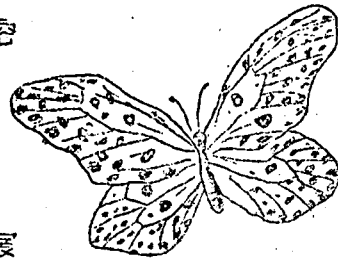
階段を登り、正面のケースには、設立者名和靖氏の肖像画をはじめ、氏愛用の山高帽子その他の遺品が展示され、氏の昆虫研究に奉げられた情熱が伝わり、てくるようでした。

展示ケースのはじめは、カナダ・アメリカ・メキシコのチョウがら始まり、館内全体に、ほぼチョウの分布区域別にして、国別に展示されていました。

正面から見ると、興味を帯びた白色なのに、ななめから見ると、うす紫に輝く大型のゴタートホル王チョウなど、文章では表現できない極美

の世界、更物をなくては、その夏の姿ばかり、てもらえないと慰う、昆虫に全く関心のない人でも、一度この更物に接するなら、あらためて、自然の造形物の神秘さに目をみはり、自然への関心を強めることでしょう。遠足などの機会を利用して、せひとも、児童・生徒に見せてやりたいものです。

日露戦争に出征した軍人の採集品が公開されているかと慰うと、各国の昆虫を描いた切手、与論島の子と母、ソテツの葉で作ったという虫かごなど、各世の虫に関する民芸品、



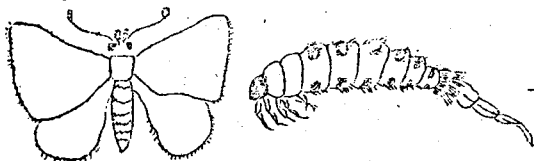
それと日本にただ一個というドイツ産のヒトラトシホの化石、名和靖氏の父

名和正世氏が原本より忠実に模写された資料「虫譜」などが展示されています。

チョウ4種を原色で印刷したイギリスのチョコレートの外箱も1個展示されているのが心に残りました。日本の製菓会社あたりでも、シリーズとして、チョウに限らず、植物・小鳥の原色図を外箱に使って、はとうだろう。食べたあと、外箱をノートにはっていくと、原色図鑑が

できあがり、ていく。自然への関心も
深ま、ていく。マンカからの借りもの
の紙はわり多い今の外箱よりは、
よ、ほど気品が、あ、て、クッドアイ
チェアだと思、たんぱ、……

なお、この特別展のポスターは、
原色写真印刷によるきれいなもの
で、内外の昆虫39種ほどがちりば
められている。部屋の壁に飾、てあ
くだけでも楽しくなるもので、希望
者には1部200円でわけてもらえ
ます。また入場券も、カラー印刷で、
アカエリトリバネチョウ、アナクシ
ピアホルモ、オオレリアゲハ、メガ



ネアゲハなどの昆虫が見られる美し
いものを、持ち帰、てアルバムにさ
も、は、ておぎにくくなるものでした。

名和秀男先生は、入場者に飼育中
の生きに昆虫を見せて話し、いろ
いろ質問に答えにりを杜がしく、
学校で見られない、ほんものの生物
教育の姿を拝見した思いで、心が
なりました。過去にも、ここを
訪れた子どもたちの中、どれだ
け多くの人、生物学に興味してい
たことでしょう。「ほんとによ、か、
たね。来てよ、か、たね」「うん」そう
話し合いながら出て行、た、小学生
と母親の姿が、とても印象的でした。

世界の昆虫展あんない

4月1日 → 9月30日

岐阜公園内 名和昆虫博物館

入館料	一般	50円 (40円)
	高校生	40 (30)
	小中生	20 (15)
()は20名以上割引値		

一口法規

第三条 (博物館專業)

2. 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
3. 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置して、これを利用させること。
4. 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
5. 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。

棚橋源太郎伝(3) 宮崎 惇

ははさま

祖父助右衛門の妻、すなわち源太郎の祖母の名を「ひさ」とい、た。源太郎のおもり役は、もっぱら祖母の仕事であ、た。源太郎も、この付近の子供たちと同じように、祖母を「ははさま」と呼んだ。

稲の脱穀もおわり、びく(藁で作った入れもの)の中に入れてもみをつり出して、家の前の街道の北側に並べたむしろの上にひろげて乾燥した。祖母もはた織りの手を休めて手伝、た。源太郎をむしろの上に遊ばせておいて、もみをむしろ一面にひろげるのである。源太郎は着物にいら、ばいもみをく、つけながら、ひとりごとをつぶやいて遊んでいた。

またある時は、土臼でもみをひきおろす父母の仕事ぶりを、老婆の背中の中でぬくもりながら、あめをしゅぶりつぶながらめたこともあ、た。

白髪のお婆はやさしい、た。あし、こでもみをぬらしても、「お天どう様が乾かしてくれるのう」といいながら、着物を取りかえてくれる。そして悟すように、たしなめるだけであ、た。自然の摂理にさからうようなことは何ひとつしな、た。な

年々の人生経験から得たものによ、て、源太郎の生活を見守、ていた。このためか、源太郎はのびのびと幼年期を畜、ていくことができた。

祖母は美濃市の大矢田出身で、武家屋敷へも奉公したことがあり、やさしく物静かで、どことなく上品さを持ちあわせていた。祖父はどちらかといえば、おひとよしの方で、派手好みといおうか、それではいって槍式深い人柄であり、父は楽天的で内気なところがあ、り。母は情熱的で少し短気なところがあ、た。このような家庭の中で、源太郎は成長していた。

老婆はよく次のような子守り唄をくちずさんでは、むすがる源太郎をぬかした。

「ぬんぬ、寝なされ おやすみなされ。ぬれば子も衆、守りも衆」

「ぬんぬころー。竹馬与一、竹をそろえて船につむ。船につんだらどこまでとどく。浅い河原をだぶだぶと」

弟要次郎も清吉も、妹キナも、みんなこの老婆にもりをしてもう、た。

源太郎は、この白髪のお婆の情愛が忘れられず、自分の長女に「ひさ」と命名した程であ、た。(つづく)

あてかけください

会館 展 示 介 介 N.03

福来博士記念館

世界的に偉大な哲学を発表された福来友吉博士は、郷土岐阜県の出身であり、その遺品・著書・研究資料などを収集・展示した博士の記念館が高山にあるのに、あまり一般には知られていない現状である。

管理されている照蓮寺では、従来から文化財などを公開されており、訪問者には、記念館へのPRにもつとめておられます。照蓮寺のすぐ下段地に記念館はあり、車で来る方は、照蓮寺前の広場が、グラント前駐車場が利用できるので、不都合はありません。

案内は照蓮寺で行っており、学校団体なども、低学年など理解のできにくい層には、入館をことわっております。

福来博士記念館は、博士の徳を慕う人々の努力によって、昭和31年の月に建立されたもので、入館料はとっておりません。

展示資料の概要

遺品、著書15点、愛読書、一代記、心靈学研究資料など

入館 午前9時～午後5時
4月1日～11月30日
毎水曜日休み
岐阜高山 城山照蓮寺管理
TEL. 高山<0577>
33:2052

福来友吉博士

明治2年11月3日高山市に生まれ、苦学力行の後、東京帝大哲学科に学び心理学を専攻、その後、冠写の確立に専念、昭和27年3月14日、その生涯を終られました。

冠写とは

人間の心は、光や電気・運動エネルギーなどに变化し得る超物理的エネルギーであるとの考えから、文学、人物、風景などを心の中へ、写真乾板に焼きつくような気持ちで冠写することによって、写真乾板に、そうしたものの映像を写し出そうというもので、外国での追実験の成功例もあり、Nem graphyとして、世界中に知られていきます。昭和6年6月には、三田光一氏との共同実験により、月の裏面を透視し、心に感じた映像を冠写し、2回とも同じ像が得られました。

事務局より

◀ 博物館の全国的な組織である日本博物館協会では、見本のような会員証を発行し、会員証所持者は、無料見学の特別の便宜を計るようになっています。本県内諸施設におかれまして

も、日本博物館協会会員の見学には、無料見学その他、特別の便宜を計るにございます。各館園とも、よろしくお願い致します。

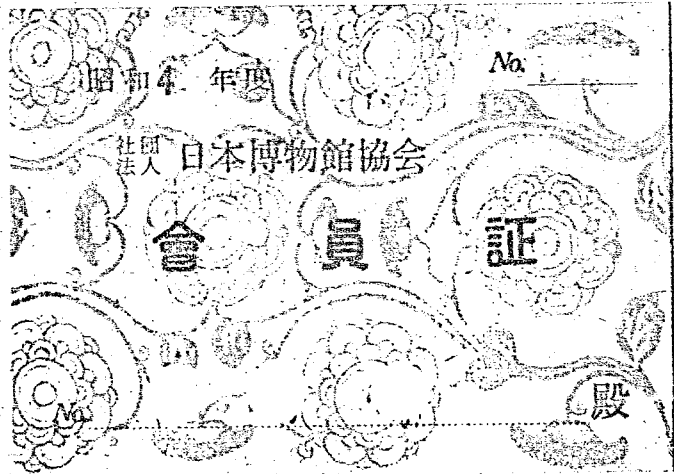
◀「博物館研究」を読みまわす!

日本を唯一の、博物館に関する研究雑誌「博物館研究」は、日本博物館協会の機関誌です。最近号、42巻4号の内容を紹介します、

- ▶ 博物館学概論 梶田 公裕
- ▶ 居心地よい博物館に、菅原 寿雄
- ▶ コレクション紹介 / 南蛮美術品
- ▶ 博物館の展示 新井 重三
- ▶ それに座談会 / 博物館と教育 は名古屋で行なわれたものを、岐博協の愛崎 博、小野木三郎も出席していただいております。

各館園のよりい、その充実・発展の

見 本



お知らせ

岐阜県博物館協会の郵便振替番号は、名古屋 28716 です。

会費の納入にお使い下さい。

ためにも、ぜひ「博物館研究」をお読みになることをおすすめします。

問い合わせは

〒110 東京都台東区上野公園

13番の号

東京国立博物館内

日本博物館協会

系属 集 友 会 記

● 万博が始まっています。新しい展示方法など、学ぶべきこと多いと思います。それぞれ各館園、見学計画はいかがですか。(S.O)